

## ～僕らの言葉で未来につなげる～

日本赤十字社愛知県支部×朝日新聞名古屋本社 防災学習企画

## 子ども新聞プロジェクト



写真提供：朝日新聞社

## CONTENTS

クローズアップ

トピックス

クロスサポーターに聞く!

## 青少年赤十字の活動報告

～多文化共生社会を目指して～8名の外国人が救急員養成講習を受講

～水の事故に備えて～今年も親子レスキューを実施

三遠ネオフェニックスが主催するバスケットボールスクールで  
赤十字AED・CPR講習を実施

大好評!愛知県赤十字血液センターの親子教室

常滑市立南陵中学校 教諭 間瀬 匡 さん

## ～多文化共生社会を目指して～8名の外国人が救急法養成研修会を受講!

愛知県支部では、県内に住む外国人と日本人がお互いに尊重し支え合う「多文化共生社会」の実現を目指し、赤十字事業への参画を通じて地域で支援者として活躍できるよう、外国人住民を対象とした救急員養成講習を展開しています。

平成28年7月17日(日)、24日(日)、31日(日)に、豊橋市で実施した救急員養成講習では、豊橋市と豊川市の国際交流協会の協力を得て、ブラジル、ペルー、フィリピン、インドネシア出身の外国人住民8名が受講しました。

受講者の一人は「自分が学んだ救急法の知識・技術を地域に住むほかの外国人住民の方にも広めたい」と話していました。

平成28年10月には、全国で初めて外国人を対象とした救急法指導員養成講習会が開催されます。今回の受講生の中からも、講習指導員資格の取得を目指す声が聞こえました。



けがの応急手当を学ぶ外国人受講者の皆さん

## ～水の事故に備えて～今年も親子レスキューを実施しました!

愛知県支部は、安全で楽しい夏休みを過ごすため、水の事故予防について親子で楽しく学べる「パパママちゃれんじ教室」や海での講習会「親子レスキュー」を今年も数多く開催しました。

7月から8月に野間海水浴場や常滑りんくうビーチなどで開催した「親子レスキュー」では、多くの親子が参加し、ペットボトルなど身近なものを利用して溺れた子どもを救助する方法を学んだり、ライフジャケットやレスキューボードを体験しました。

参加者からは「事故に備えることの大切さを楽しく学ぶことができました!」との感想をいただきました。

愛知県支部では、命と健康を守るための様々な講習を今後も開催いたします。



親子でレスキューボードを体験

クロスサポーターに  
聞く! No.19  
常滑市立南陵中学校 教諭  
間瀬 匡 さん

日本赤十字社愛知県支部とタイアップ様々な活動に取り組む企業や団体、人(クロスサポーター)を紹介します。  
今回のクロスサポは、常滑市立南陵中学校 教諭 間瀬 匡 さんです。



間瀬 匡 さん

## 青少年赤十字との最初の出会いは?

青少年赤十字との出会いは、教師になって最初に赴任した小学校が青少年赤十字に加盟しており、その活動を学校教育の中に積極的に取り入れていたことがきっかけで、当時の校長先生から、「青少年赤十字の活動を通じて多くの事を学んで欲しい」という言葉をかけられ、教師になった初年度に青少年赤十字指導者講習会を受講したのが最初の出会いです。それまで赤十字といえば、献血や病院のイメージしかなかったのですが、講習に参加して、青少年赤十字の活動が率直に「楽しい!」と思ったのを今でも覚えています。教師になったばかりで、右も左も分からなかった当時、青少年赤十字が目標とする自ら「気づき」、「考え」、「行動する」ことが、教師にも大切であることをその講習で学びました。

## これまで携わった青少年赤十字事業の中で印象に残っていることは?

数えきれないほどありますが、学校や地域のリーダーを育成するための研修「リーダーシップトレーニングセンター」(以下、トレセン)で私がホームルームを担当した時のことが印象に残っています。私の簡単な言葉の投げかけに対し、小学生たちが素早く反応し、次にどのような行動をすればいいかを、お互いに初めて会う子どもたちと相談し、実行していく姿を見ることができたのがとても印象的です。

また、その子どもたちが中学生になって、再び青少年赤十字事業に参加したことで再会することができ、小学生だった頃と比べて、さらに成長した姿を見たときの喜びを今でも覚えています。

また、同じくトレセンで、子どもたちがプレッシャーを感じて体調を崩したり、ホームシックになってしまう事がありました。そこで、私は他の指導者に声をかけ、「トレセンジャー!!」という戦隊ヒーローに扮して、少しでも子どもが楽しみながら成長できることを考えたりもしました。こうした事は、普段の学校では経験することが出来ない貴重な機会でした。さらには、国際交流事業で昨年モンゴルに同行した際に、モンゴルでは全校生徒が赤十字事業に誇りをもち、生徒会が主となって活動に取り組んでいることに驚いたことも印象的です。



昨年モンゴルを訪れたときの一枚

## 今後の青少年赤十字へ期待することは?

普段の学校生活では、子どもたちはどうしても「指示待ち」になってしまいます。だからこそ、今後でも多くの子もたちが青少年赤十字の活動を通じて、自ら「気づき」、「考え」、「行動する」ことができ、世界中の人たちとコミュニケーションがとれるよう成長してもらいたいと思います。

また、今後は「ボランティア」意識を高めることにも期待し、防災減災分野などで「自助」または「共助」について学ぶ機会を増やし、モンゴルのように各学校の全校生徒が赤十字の活動を知る機会をもっと増やしてもらいたいです。

さらに、私が赤十字を通じて多くの事を学んだように、子どもたちだけでなく、教師の方々にも積極的に青少年赤十字事業に参加してもらい、子どもたち同様に自ら考えることの大切さを知ってもらいたいです。

間瀬さんは、教諭の方が集まる研修会や学校の授業で、防災教育を目的としたゲーム「いえまですごくく」を積極的に活用し、防災減災の分野でも赤十字を通じて様々な活動をされているとのことでした。当支部では、今後でも多くの子もたちが赤十字活動に参加し、様々な経験を通じて成長できるよう、青少年赤十字事業において様々な活動を行います。

## 三遠ネオフェニックスのバスケットボールスクールでAED・CPR講習を実施!

愛知県支部とパートナーシップ協定を締結しているプロバスケットボールチームの三遠ネオフェニックスが、8月23日(火)と24日(水)に開催したバスケットボールスクールの中で、試合中や練習中にも起こりうる心肺停止状態の時に使用するAEDとCPR(心肺蘇生)講習が行われました。

講習は、赤十字のボランティア指導員により行われ、フェニックスの選手や、同スクールに参加する地元豊橋市の中学生を対象に、2日間にわたり約200名の生徒が受講しました。

最初は心臓マッサージや人工呼吸に戸惑いを見せた生徒たちでしたが、人の命を救うために一生懸命に受講する姿が見られました。

愛知県支部では、今後もバスケットボールを通じた社会貢献活動を推進していくとともに、今年9月に開幕した日本最高峰の男子バスケットボールリーグ「B. LEAGUE」で三遠ネオフェニックスが活躍することに期待します。



フェニックスの選手たちと真剣な表情で講習を受ける生徒たち

## 大好評!愛知県赤十字血液センターの親子教室

8月19日(金)、23日(火)、24日(水)愛知県赤十字血液センターが「夏休み親子血液教室」を開催し、小学生4・5・6年生の親子220組が参加しました。

子どもたちは青年奉仕団の学生らによるクイズや、血液センター見学ツアー、けんけつちゃんとの記念撮影、血液型判定などを通して、血液のこと、献血のことを熱心に勉強しました。また、参加した子どもたちは、「大きくなったら絶対献血に来るね!」と将来の献血協力を約束してくれました!



冷凍された血液を見て、みんなびっくり!

## クロスサポ! 特別編 No.6

## ■名古屋グランパス



和泉竜司 選手 ●背番号:29 ●ポジション:MF ●出身地:三重県

## 赤十字のイメージは?

赤十字のイメージで最初に浮かぶのは募金活動です。「平成28年熊本地震災害」では、名古屋グランパスの選手会で募金活動を行い、ご協力頂いた義援金は赤十字を通じて被災地の方々へ寄付させていただきました。今後は赤十字病院の慰問活動も行いたいです。

## 今年の抱負は?

なんとしてもJ1に残留することです。チームとしても個人としても出来ること、やらなければいけないことを精一杯取り組み、今の目標を達成したいと思います。

## ■名古屋オーシャンズ



安藤良平 選手 ●背番号:14 ●ポジション:FIXO/ALA/PIVO ●出身地:神奈川県

## 赤十字のイメージは?

災害救援活動など、苦しんでいる人々への支援活動を行っているイメージがあります。私はこれまで、義援金の募金活動や献血など赤十字を通じた社会貢献を積極的に行い、オーシャンズを多くの人に知ってもらいたいです!

## 今年の抱負は?

今シーズンから名古屋オーシャンズに入団しましたが、自分がチームを引っ張っていく気持ちで、プレーしていきます!

## ■三遠ネオフェニックス



大石慎之介 選手 ●背番号:1 ●ポジション:SG ●出身地:静岡県

## 赤十字のイメージは?

義援金の受付やボランティア活動など、困っている人を助けているイメージです。私はこれまで、義援金の募金活動や献血など赤十字に関わってきました。また、先日は赤十字が行うAED講習にも参加しました。

## 今年の抱負は?

もちろんBリーグでの優勝です。厳しい戦いが続きますので、一つ一つの試合を大切にして、勝利を積み重ねていきます。また、プロバスケットボール選手として、社会貢献活動も積極的に参加していきたいです!

パートナーシップ協定を結ぶ名古屋グランパス・名古屋オーシャンズ・三遠ネオフェニックスの選手たちに「赤十字」について聞きました!

INFORMATION

インフォメーション

●あいち赤十字フェスタ2016

11月3日(木・祝日)、愛知県支部で「あいち赤十字フェスタ2016」を開催します。炊き出し体験や大人気の備蓄倉庫探検隊など災害に関するコーナーのほか、さまざまな体験プログラムを用意しています。ぜひ遊びにお越しください!

日時:平成28年11月3日(木・祝) 10:00~16:00  
場所:日本赤十字社愛知県支部(名古屋市中村区白壁1-50)

●第7回中村日赤ふれあいまつりを開催!

名古屋第一赤十字病院は、11月19日(土)に中村日赤ふれあいまつりを開催します。院内に開放し、骨密度や足型などの各種測定コーナー、子どもを中心とした救護服・ナース服の試着体験や介護相談、コンサートや紙芝居、似顔絵コーナーなどを企画し、皆様のお越しをお待ちしています。

日時:平成28年11月19日(土) 10:00~15:00  
場所:名古屋第一赤十字病院(名古屋市中村区道下町3-35)

●平成28年台風10号等災害義援金

平成28年8月に発生した台風10号に伴う大雨により北海道・岩手県を中心に大きな被害が出ました。この災害で被災された方々を支援するため、日本赤十字社では平成28年10月31日(月)まで義援金を受け付けております。義援金のご協力方法については、日本赤十字社愛知県支部ホームページにてご確認ください。

●平成28年熊本地震災害義援金

現在、全国の皆さまから日本赤十字社へお寄せいただいた義援金の受付状況は次のとおりです。

●受付状況:250億6,253万7,812円(平成28年8月24日現在)

義援金の受付は、平成29年3月末まで行います。あたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

試験の種類	募集人員	出願時期	試験日	選抜方法
一般入学試験	50名	平成28年12月9日(金) 平成29年1月19日(木) 必着	平成29年1月28日(土)	学力検査 【必須科目】 国語総合(古文・漢文を除く) (配点100点) 【選択科目】 英語表現I (配点100点) 【選択科目】*2 (配点1科目100点) 次の①、②、③から1つを選択 ① 数学I・数学A ② 化学基礎・化学 ③ 生物基礎・生物
大学入試センター試験利用入学試験	5名	平成29年1月14日(水) 平成29年1月13日(金) 必着	平成29年1月15日(日)	学力検査 【必須科目】 国語総合(近代以降の文章) (配点100点) 英語(英熟リスニングを除く) (配点200点満点を100点満点に換算) 数学I・数学A (配点100点) 【選択科目】(配点1科目100点) 理 科 生物基礎・化学基礎の2科目 又は生物、化学から1科目を選択
日本赤十字社中部各県支部長推薦入学試験	30名	平成28年10月24日(月) 11月4日(金) 必着	平成28年11月19日(土)	・小論文(配点:60点) ・基礎学力調査(英語) (配点:50点) ・面接(配点:50点)*1
高等学校長推薦入学試験	30名	平成28年10月24日(月) 11月9日(水) 必着		
社会人特別選抜入学試験	5名			

\*1 支部長推薦、高等学校長推薦入学試験については、小論文・面接試験・基礎学力調査(英語)のほか調査書(7点)も配点対象となります。  
\*2 「数学A」の出題範囲は「場合の数と確率」「図形の性質」より出題します。

上記の内容は出願の際に必ず募集要項で確認して下さい。

ボランティアリレー!

このコーナーでは、ボランティアとして活躍する奉仕団をリレー方式で紹介していきます。

日進市赤十字奉仕団

●活動紹介

災害時の義援金や救援金の募金活動や炊き出し訓練を行うほか、日進市が主催する事業にも積極的に参加をしています。また、高齢者施設での清掃・園芸奉仕の活動もこれまで継続して行ってきました。さらに、幼児安全法や健康生活支援の講習会を開催し、団員たちの資質向上を目指しています。

●私たちのイチオシポイント!

健康生活支援活動の普及のため、私たちは「癒しのリラクゼーション」DVDを作成しました。高齢者が集う場や学区の防災訓練に際しては、作成したDVDを放映すると、多くの方に喜んでいただけます。また子どもが多い日進市では、幼児に対する関心が高く、幼児安全法の講習も積極的に行っています。

次回は名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団へバトンタッチ!

次は同じ日進市にある「名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団」さんです。東日本大震災では現地に赴き奉仕活動を行うなど、同じ市内にあることでとても頼もしく思っています。今後ともよろしく願います!

日進市赤十字奉仕団 鈴木直美委員長  
名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団 吉田有梨沙委員長  
藤掛浩保副委員長

ご協力感謝申し上げます

日本赤十字社愛知県支部へ活動資金として多額のご寄付をいただいた法人様

●一般財団法人坂文種報徳会様 ●中日防災株式会社様 ●明菱サービス株式会社様 ●名古屋コンテナ株式会社様  
●ホッコー株式会社様 ●朝日土地株式会社様 ●株式会社フェニックス様

赤十字事業は、社員(会員)のみならずからの年間500円以上の「社費(会費)」と、一般の方から寄せられる「寄付金」によって支えられています。赤十字の活動資金にご協力ください。

郵便振替口座 00860-1-732 日本赤十字社愛知県支部

郵便局備え付けの払込取扱票でお手続きください。  
ご不明な点は日本赤十字社愛知県支部事務局 企画振興部赤十字社員課まで。  
お問合わせ 052-971-1596(直通)

日赤あいち

発行元/日本赤十字社愛知県支部 発行日/平成28年10月1日  
〒461-8561 名古屋市東区白壁1-50 TEL052-971-1591(代表)

ホームページで 日赤愛知  
www.aichi.jrc.or.jp

検索

子ども新聞プロジェクト

今年、東日本大震災の被災地取材

今年で5年目を迎えた、愛知県支部と朝日新聞名古屋本社の防災学習企画「子ども新聞プロジェクト」。このプロジェクトは、愛知・岐阜・三重の青少年赤十字加盟小学校から選ばれた子ども記者が被災地を訪れ取材を行います。その後は自分たちで新聞記事を執筆し、三県の小学校に新聞が届けられます。今回は、11名の小学生が宮城県を訪れ、東日本大震災から5年が経過した被災地の現状と課題を取材しました。

～東北コットンプロジェクト～で綿花栽培の取り組みを始めた農家を取材。

復興への願いが込められた仮設店舗「開上さいかい市場」を訪問。

名取市の災害公営住宅の現状や課題について、市役所の方や地域の住民の方からお話をいただきました。

岩沼市にある千年希望の丘を取材。大津波の出来事を後世に伝え続ける大切さを学びました。

編集会議では、取材で感じたことなど、意見を出し合いながら、記事を書き上げました!

今回参加した11名の子ども記者たち

リーダーシップ・トレーニングセンター

県内の小中高生約600人が参加

愛知県支部では、毎年、夏休みの期間に青少年赤十字加盟校の小学校から高校までの児童・生徒を対象に、赤十字を通じて学校や地域で活躍するためのリーダーシップを育成するための研修(リーダーシップ・トレーニング・センター)を開催しています。研修では、自ら「気づき」、「考え」、「実行する」態度を身につけることを目標とし、様々なフィールドワークやグループワークを実施しました。

岡崎市赤十字奉仕団の方から、炊き出しの方法を教わりました。

グループで「いえまですごく」を行い、防災・減災を学びました。

AEDと心肺蘇生の講習も受講!

国際交流事業

モンゴル青少年赤十字メンバーが来日!!

愛知県支部では、モンゴル青少年赤十字と国際交流事業を毎年行っています!今年は8名のモンゴルメンバーが来日し、日本の子どもたちとの交流を深め、様々な日本文化を体験しました!

ようこそ愛知県支部へ!

母国モンゴルの英雄、日馬富士関と対談

献血ルームタワーズ20を見学。日本の血液事業を学びました!

生まれ初めての海で大はしゃぎ!!

ロッジステイ最終日。日本の子どもたちと涙のお別れ...

クロースアップ

青少年赤十字事業

夏の活動ピックアップ!

愛知県支部では、赤十字の精神に基づき、青少年自身が日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的として、様々な青少年赤十字活動を展開しています。

今回は、今年の夏に実施した愛知の青少年赤十字活動の部を紹介いたします。

CLOSE UP